

< J R 東日本 首都圏本部 >



要 望 書

令和5年11月

千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟

令和5年11月1日

東日本旅客鉄道株式会社

常務執行役員 首都圏本部長 小川 治彦 様

千葉県J R線複線化等促進期成同盟

会 長 千葉県知事 熊谷 俊人

ダイヤ改正等利便性向上に係る要望について

貴社におかれましては、日頃から本期成同盟の活動に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、常磐緩行線天王台駅のホームドアについて、本年12月の供用開始が決定するなど、安全輸送の徹底に御配慮いただき、誠にありがとうございます。

貴社各線は、県内の通勤・通学をはじめ、地域住民の日常生活に欠くことのできない交通手段として、また、まちづくりや産業・観光の基盤として、重要な役割を果たしております。

こうしたことから本期成同盟では、県内J R線利用者の利便性・快適性の向上を図るため、複線化を含めた輸送力改善及び施設整備の促進を目的として活動を行っております。

このたび、地域のニーズに基づく会員からの要望について、路線別の対策部会の協議を経て、重点要望と一般要望に区分し、別添のとおり提出いたしますので、今後のダイヤ改正等において、特段の御配慮をいただきたくお願い申し上げます。

目 次

I 重点要望

1 全路線の共通要望

- 災害時における情報提供の円滑化について…………… 1
- 安全・安心対策について…………… 1
- 利用者ニーズに的確に対応した施策について…………… 1
 - ・ バリアフリー化の推進…………… 1
 - ・ ホームドア（可動式ホーム柵を含む。以下同じ）の早期整備等による転落防止対策等の促進…………… 2
 - ・ 障害者の移動利便性の向上について…………… 2
 - ・ 本県を訪れる外国人等へのサポートについて…………… 2
- 本県の多様な地域特性に対応した鉄道ネットワークの利便性の維持・向上について…………… 3
- 利用者の利便性及び安全性の確保・向上について…………… 3
- ダイヤ改正等への地域の意見の反映及び内容の説明について… 4

2 路線別重点要望

- 1 成田線（成田～我孫子間）…………… 5
- 2 常磐線…………… 5
- 3 武蔵野線…………… 5

II 一般要望(路線別)

○ダイヤ改正等に係る要望

- 1 成田線（成田～我孫子間）…………… 6
- 2 常磐線…………… 6
- 3 武蔵野線…………… 6

○施設整備に係る要望

- 1 常磐線…………… 7
- 2 武蔵野線…………… 7

I 重点要望

1 全路線の共通要望

○ 災害時における情報提供の円滑化について

地震、集中豪雨、台風、大雪等による災害発生時においては、利用者や自治体に対して、鉄道の運行に係る情報を確実に伝達できる広報・情報提供の体制を整備していただくとともに、迅速かつ正確な、運転取りやめ、運転再開の見込み等の情報提供を要望します。

また、復旧の見通しの状況等に応じて、被害状況や復旧作業の状況、代替交通手段の運行等に係る分かりやすい情報提供の実施をお願いします。

その際は障害者や外国人等にも配慮した形での情報伝達を要望します。

○ 安全・安心対策について

鉄道は毎日多くの県民が通勤・通学等に利用するなど、県民生活・経済活動にとって欠くことのできない重要なインフラであり、また、観光面においても重要な役割を果たしていることから、事故防止に向けた社員教育の徹底、保安設備の改良、サイバーテロを含むテロ対策の強化、鉄道関連施設の災害対策、痴漢防止活動の強化等、安全・安心対策の徹底に万全を期すよう要望します。

○ 利用者ニーズに的確に対応した施策について

・バリアフリー化の推進

高齢者、障害者を始め、妊産婦や乳幼児を連れた利用者など誰もが使いやすい駅舎とするため、エレベーターやスロープにより高低差解消を図るほか、障害者等の利用に配慮したバリアフリースイールの設置等、バリアフリー化の推進を要望します。

なお、エレベーター等の設置については、バリアフリー法の基本方針を踏まえて、計画的に推進されていると聞いているところですが、その対象となる1日当たりの利用者数が3千人以上の駅について着実に実施していただきたい。

また、利用者数が3千人に満たない駅についても、高齢者や障害者の利用が多いなどの特殊事情のある駅については、設置を推進していただきたい。

・ホームドア(可動式ホーム柵を含む。以下同じ)の早期整備等による転落防止対策等の促進

令和4年4月に示された貴社のホームドア整備計画では、令和13年度末頃までの整備とされていますが、利用者数の多い駅に加え、一部の駅では、朝夕のラッシュ時にはホームに乗降客が溢れ、危険な状態になっていることから、早急な対策が求められております。

つきましては、利用者が安心して鉄道を利用できるよう、1日当たりの利用者数が10万人以上の駅については、ホームドアの整備を、上記計画よりも可能な限り早く実施していただくよう要望します。

また、利用者数が10万人に満たない駅についても、視覚障害者の利用が多いなどの特殊事情のある駅や、利用者が特定の時間帯に集中する駅については、10万人以上の駅と同様に取組を進めていただきたい。

なお、ホームドア整備は事業費が高額であり、地元自治体は補助金の予算確保に時間を要することから、整備の時期や費用等については、自治体に対し早期の情報提供を要望します。

また、鉄道駅バリアフリー料金制度が導入されている区間では、利用者も費用を負担していることから、設置時期を早期に具体化し、利用者に対し情報提供いただきたい。

併せて、ITやセンシング技術等を活用した転落防止対策等についても、検討・導入を進めていただきたい。

・障害者の移動利便性の向上について

障害者に対する運賃の割引については、現在、身体障害者及び知的障害者が対象になっているところですが、障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、精神障害者も身体障害者や知的障害者と同等の運賃割引が受けられるよう要望します。

・本県を訪れる外国人等へのサポートについて

本県を訪れる、外国人、障害者及び高齢者等が、鉄道を利用して県内の観光地などをスムーズに移動し、安心して観光や滞在を楽しむことができるよう、適切なサポートができる人材の育成や、駅での案内の強化等の対策を要望します。

○ 本県の多様な地域特性に対応した鉄道ネットワークの利便性の維持・向上について

本県は、首都圏の業務機能の一翼を担う拠点都市に加え、豊かな自然環境に恵まれた地域や、魅力ある観光地を多く有するなど、多様な地域を内包しています。

人口増加が続いている県の北西部等においては、通勤・通学時間帯の混雑緩和や乗継の円滑化など、鉄道利用の利便性向上を望む声が高まっており、利用状況に応じた増便や線路容量の拡大による輸送力の増強等の混雑緩和対策や、都心部への更なるアクセス向上や東京湾岸地域方面への相互直通運転など、他路線や他の交通事業者とのシームレスな移動の実現を要望します。

また、人口減少・高齢化が進行している県の東部・南部をはじめとした地域は、観光資源に恵まれた地方創生の要となる地域でもあります。これらの地域におけるJR線は、観光客誘致の面も含め、公共交通の中心的役割を担っていることから、増便や複線化など利便性向上を図っていただくとともに、二次交通との連携や、観光列車の運行、県や市町村の観光支援事業と連携した大規模なキャンペーン等の実施、沿線地域の賑わい創出につながる広域的な旅行商品の企画販売、駅における郵便局やコミュニティ施設の併設等、まちづくり・地域づくりへの参画など、地域と連携した地方創生の取組を通じて、路線の維持・活性化を図っていただくことを要望します。

○ 利用者の利便性及び安全性の確保・向上について

近年、指定席券売機・多機能券売機の導入等が進んでいることにより、駅員の減員や駅無人化、みどりの窓口の閉鎖等がみられます。利用者の利便性・安全性を確保するために、駅構内だけでなく、列車の運行面についても、適切な業務運営に必要な人員を確保いただくとともに、人員の削減が、利用者に対するサービス、利便性の低下や事故防止等の安全対策の軽視につながらないように、十分な配慮を要望します。

また、旅行者、特に海外から当県を訪れる観光旅行者に対しては、沿線の観光情報や災害時の情報等を収集できる環境の整備が、快適な旅の提供につながることから、県内のターミナル駅や観光拠点となる駅への無線LANサービスの整備を推進されるよう要望します。

○ **ダイヤ改正等への地域の意見の反映及び内容の説明について**

利用者の利便性に直結するダイヤ改正の実施や、みどりの窓口の閉鎖等の際には、事前の情報提供や周知徹底を図るとともに、検討段階において、地域の意見を反映する仕組みの創設を要望します。

また、地域の意見との調整を経て決定されたダイヤ改正の内容・趣旨等について、各沿線自治体の要請に応じ、丁寧な説明や情報提供を要望します。

2 路線別重点要望

1 成田線(成田～我孫子間)

通勤・通学時間帯の列車の増発と接続改善について

通勤・通学時間帯における利便性向上を図るため、同時間帯の列車の増発と、成田駅及び我孫子駅での乗り継ぎ時間の短縮など接続改善を実施していただくよう要望します。(継 続)

2 常磐線

(1)ホームドアの早期設置

令和4年4月に示された貴社のホームドア整備計画では、令和13年度末頃までの整備とされていますが、全線での整備にはまだ長い期間を要します。

しかしながら、一部の駅において、朝夕のラッシュ時にホームに乗降客が溢れて危険な状況となっていることから、利用者が安心して鉄道を利用できるよう、1日当たりの利用者数が10万人以上の駅や、利用者が特定の時間帯に集中する駅については、ホームドアの早期設置を要望します。(一部修正)

(2)羽田空港アクセス線(東山手ルート)の早期実現

グループ経営ビジョン「変革2027」で示された、羽田空港アクセス線構想は、シームレスな移動の実現につながるだけでなく、成田と羽田、両空港のアクセス強化に向けても重要であることから、事業を着実に推進いただくよう要望します。(継 続)

3 武蔵野線

(1)混雑緩和のための列車の増発・増結

通勤・通学者及び京葉線への乗り入れに伴うレジャー施設への来園客により大変混雑しており、乗車人員も年々増加しているため、列車の増発・増結を要望します。(継 続)

(2)終電時刻の繰り下げ

武蔵野線と接続する総武線、常磐線、つくばエクスプレス等に比べ、東京方面からの終電時刻が早いため、終電時刻の繰り下げを要望します。

(継 続)

Ⅱ 一般要望（路線別）

ダイヤ改正等に係る要望

1 成田線（成田～我孫子間）

区分	具体的要望内容	要望団体
普通	増発（特に通勤・通学時間帯）と接続改善	成田市、 <u>我孫子市</u> 、 <u>印西市</u> 、 <u>栄町</u>
快速	常磐線特別快速の我孫子駅停車又は快速列車の本数の復元	成田市、我孫子市、印西市、 <u>栄町</u>
	埼玉方面から武蔵野線、常磐線、成田線（我孫子方）を経由した成田空港への快速列車の運行	
その他	我孫子発成田経由千葉駅行きの直通便の運行	<u>栄町</u>

2 常磐線

区分	具体的要望内容	要望団体
緩行	千代田線から常磐線への乗り入れ本数	松戸市、柏市
	増発 新型コロナウイルス感染症の影響により調整されたダイヤにおける運行本数の復元含む	我孫子市、 <u>柏市</u> 、流山市、 <u>松戸市</u>
快速	増発（新型コロナウイルス感染症の影響により調整されたダイヤにおける運行本数の復元含む）	柏市、 <u>我孫子市</u> 、松戸市
	東海道線との相互直通運転の実現	松戸市、我孫子市
	新松戸駅への停車	<u>流山市</u> 、 <u>松戸市</u>
	特別快速の我孫子駅への停車	我孫子市
特急	「踊り子」号の運行復元	我孫子市
	「ときわ号」の松戸駅への停車	<u>松戸市</u>
その他	羽田空港アクセス線（東山手ルート）の早期実現	<u>松戸市</u> 、 <u>柏市</u> 、我孫子市

3 武蔵野線

区分	具体的要望内容	要望団体
普通	増発・増結 特に混雑時間帯（通勤・通学時間帯等）	<u>市川市</u> 、流山市
		<u>松戸市</u>
	東京方面からの終電時刻の繰下げ	<u>船橋市</u> 、 <u>流山市</u> 、市川市

1 常磐線

施設名	具体的要望内容	要望団体
各 駅	ホームドアの早期設置	<u>松戸市</u> 、 <u>我孫子市</u>
柏 駅	快速線のホームドア早期整備	<u>柏市</u>
	駅舎改良（コンコース拡幅、北口改札口の設置等）	<u>柏市</u>
北小金駅	北口跨線橋への屋根の設置	<u>松戸市</u>
新松戸駅	東口改札の設置	<u>松戸市</u>
	流鉄流山線幸谷駅乗換の車内放送の実施	<u>流山市</u>

2 武蔵野線

施設名	具体的要望内容	要望団体
新松戸駅	ホームドアの早期設置	<u>松戸市</u>
	東口改札の設置	<u>松戸市</u>
	流鉄流山線幸谷駅乗換の車内放送の実施	<u>流山市</u>
その他	通勤・通学時間帯における女性専用車両の導入	<u>市川市</u>

【6ページから7ページまでの共通事項】

（注1）各団体の最重点要望（優先順位1位）については、団体名にアンダーラインを引いた。

（注2）**ゴシック文字**は重点要望項目の再掲である。